

第6学年保護者の皆様

廿日市市立地御前小学校長 小野 学

令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果について

秋麗の候、皆様にはご健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素より本校教育に対し、ご理解・ご協力をいただきありがとうございます。

さて、4月に全国の6年生を対象に行われた「全国学力・学習状況調査」の結果がまとまりましたので、お知らせいたします。今回の結果から把握した各児童の学習や生活における実態をもとに、今後の指導内容や指導方法の改善・充実を図ってまいります。尚、これらの内容については、学校ホームページにも掲載します。

1 教科に関する調査

国語

全国学力・学習状況調査 本年度正答率 【国語】	
本 校	72.0%
広 島 県	67.0%
全 国	65.6%



重点課題

- 文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整える。(問題3-1 正答率:本校 50.7%, 全国 59.2%)
- 互いの立場や意図を明確にしなが、条件に合わせて自分の考えをまとめる。

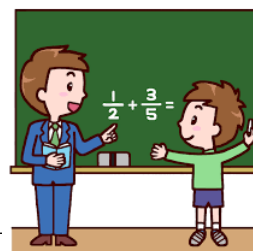
(問題1-4 条件①「問題点についての解決方法を書く」を満たしていない児童の割合:本校 32.9%, 全国 36.1%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法

- ◎ 低学年の段階から、読んだりラインを引いたりして、問題文を丁寧に読むことを指導する。また、「引用」「要約」などの学習の用語を大切に、積み上げていく。意見文形式の問題にも慣れ親しませる。
- ◎ 立場をはっきりさせて考えをもたせたり、根拠を明らかにしたりして自分の考えを書く学習を行う際に、メモの使用や文章構成の指導を継続して行う。

算数

全国学力・学習状況調査 本年度正答率 【算数】	
本 校	65.0%
広 島 県	64.0%
全 国	63.2%



重点課題

- 数量が変わっても割合は変わらないことを理解している。(問題2(3) 正答率:本校 13.7%, 全国 21.4%)
- 目的に合った数の処理の仕方を考察できる。(問題1(4) 正答率:本校 27.4%, 全国 34.8%)
- 目的に応じて円グラフを選択し、必要な情報を読み取る。(問題3(3) 正答率:本校 60.3%, 全国 66.8%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法

- ◎ 学習時間だけでなく生活の中で算数的な場面を見つける活動を意識的に行っていく。
- ◎ 絵や図にかいて問題を把握する習慣を付けるために、複雑な場面の問題や長文の問題では、児童に図を使う必要性をもたせることができるような授業を行っていく。
- ◎ 社会科や家庭科など他教科においても複数のグラフを読み取る学習を行い、分かることを共有したり吟味したりする。
- ◎ 算数科の概数の学習では、四捨五入だけでなく切り上げ・切り捨てが必要な問題にも取り組む。

全国学力・学習状況調査 本年度正答率 【算数】	
本校	70.0%
広島県	66.0%
全国	63.3%



重点課題

- 実験の予想と結果を基に、課題に対するまとめを検討して改善し、自分の考えをもつことができる。
(問題2(3) 正答率：本校61.6%、全国62.8%)
- 自然の事物・現象から得た情報や観察などで得た結果を、示された視点で分析して解釈し、自分の考えをもったりその内容を記述したりできる。
(問題2(4) 正答率：本校46.6%、全国39.3%)
(問題4(3) 正答率：本校49.3%、全国45.5%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法

- ◎ 立てた問いに対して予想をもち、実験を行った上で、整合性のある結果を出す学習を繰り返し行う。
- ◎ 課題を解決していく中で、次への疑問や新たな課題を自ら見出すような学習を取り入れる。
- ◎ 記号を含むグラフの読み取り方や、「めあて」と「課題」の違いをはっきりさせるなど、基本的な技能や用語を大切に、授業を進める。
- ◎ 誤答が定着することのないよう、誤答の多い問題については授業で解き直し、正しい知識を定着させる。

2 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査（主なもの）

- 読書に関する項目（新聞を除く）「肯定的回答」 (本校：47.9% 全国：41.9%)
- 通信機器の使い方について家の人との約束を守る。「肯定的回答」 (本校：83.6% 全国：71.5%)
- 地域の行事への参加「肯定的回答」 (本校：69.9% 全国：52.7%)
- △ 毎日、朝食を食べている。「肯定的回答」 (本校：91.8% 全国：94.4%)
- △ 平日、1日当たりのゲームの時間「3、4時間以上」 (本校：38.3% 全国：30.7%)
- △ 新聞を読んでいますか。「ほとんど又は全く読まない」 (本校：83.6% 全国：73.0%)
- △ 学習した内容の分かった点や分からなかった点を見直し、次の学習につなげる。「肯定的回答」 (本校：61.6% 全国：72.2%)

【今後の取組】

- ◎ 「元気っカード」の取組と合わせ、朝食の必要性やメディアとの付き合い方について指導する。
- ◎ 子ども新聞を活用し、朝読書の時間を活用して新聞に目を通したり、新聞を使って考えをもたせたりする活動に取り組む。
- ◎ 4～6年生では1週間単位で宿題を出す「計画的に学習 week」を設定し、自分で立てた計画に沿って宿題やテスト前学習を行わせる。

学校では、これらの結果を受け、よりよい学校教育に向け、全教職員で共通理解を図りながら取組を進めてまいります。改善に向け、学校だけでなく、家庭・地域社会がそれぞれの適切な役割を果たしつつ、連携・協働した取組が行われることが重要です。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

